

しあわせ

第 142 号

社会福祉法人

棚倉町社会福祉協議会

棚倉町大字棚倉字中居野68番地1

電話 (0247) 33-2623

FAX (0247) 23-1525

♪ 高齢者サロン交流会を開催しました ♪



令和8年3月2日に「第3回高齢者サロン交流会」を開催しました。

今年度は口笛奏者の高木満理子様をお呼びして口笛コンサートを行い、54名の方が参加しました。口笛ミニ講座や3月生まれの参加者さんのリクエスト曲など、演奏していただきました。

口笛とは思えない素晴らしい音色にとっても癒され、参加者からは好評の声ばかりで『とても感動した！また棚倉に来て欲しい』との声が多数聞かれました。

また、コンサート後のカフェタイムでは、ほかの地区の人と交流ができ、楽しい時間を過ごすことができたようです。



いつもは地区ごとに開催している高齢者サロンの参加者が一堂に会し、交流を深めることで日常のサロン活動がさらに充実、発展することを目的に交流会を年に一度、実施しています。

社会福祉協議会は地域福祉の要として、多くの
人々の善意に支えられ、福祉事業活動を行っています。住み慣れた町（地域）で安心して、生活で
きるよう、みんなで互助の心をはぐくみ、支え合
い、福祉の「まちづくり」を推進しましょう。

目次

	ページ
・ 令和7年度事業報告・決算報告	2
・ いきいきくらぶ	3
・ 棚倉町民生児童委員協議会活動報告	4
・ ご寄附・しあわせ指定居宅介護支援事業所	5
・ 地域包括支援センター	6～7
・ ボランティアセンター	8～9
・ お知らせコーナー	10

令和7年度社会福祉法人棚倉町社会福祉協議会 事業報告・決算報告

★事業報告★

★法人運営事業★

- 理事会開催〈5回〉
- 評議員会開催〈3回〉
- 評議員選任・解任委員会〈2回〉
- 監査の実施〈2回〉
- 会員会費〈3,042世帯〉
- 寄附受納〈89件〉

★地域福祉活動事業★

- 地域福祉ネットワーク支援〈2団体〉
- 地域サロン〈19団体210回〉
- 福祉活動団体への支援助成〈2団体〉
- 心配ごと相談事業〈59件〉
- 福祉バス運行事業〈10件〉
- 奨学金給付事業〈6名〉
- 生きがい活動支援通所事業〈利用者延1,675名〉
- ・はつらつくらぶ〈12回開催 参加者延42名〉
- ボランティアセンター事業〈活動人員339名〉

★資金貸付事業★

- 生活福祉資金貸付事業〈利用件数6件〉

★共同募金配分金事業★

- ・福祉団体への助成〈8団体〉
- ・歳末たすけあい配分金贈呈〈43世帯・8施設〉
- ・重度心身障害者自動車燃料助成〈11名〉
- ・車椅子修理〈3台分〉
- ・サマーショートボランティアスクール〈14名〉
- ・小学生向けボランティア養成講座〈27名〉
- ・ボランティア保険加入〈12団体109名〉
- ・社協広報発行〈年4回〉
- ・ひとり暮らし高齢者火災報知器貸与事業〈利用者52名〉
- ・地域サロン〈19行政区〉
- ・高齢者交流会〈29名〉
- ・高齢者サロン交流会〈57名〉
- ・防災セミナー〈34名〉

★福祉サービス利用援助事業★

- 福祉サービスの利用援助
 - 日常的金銭管理サービス
 - 書類等の預かりサービス
- 〈利用者20名 支援回数277回〉

★住宅介護支援事業★

- 介護サービス計画作成及び管理業務〈利用件数延1,797件〉

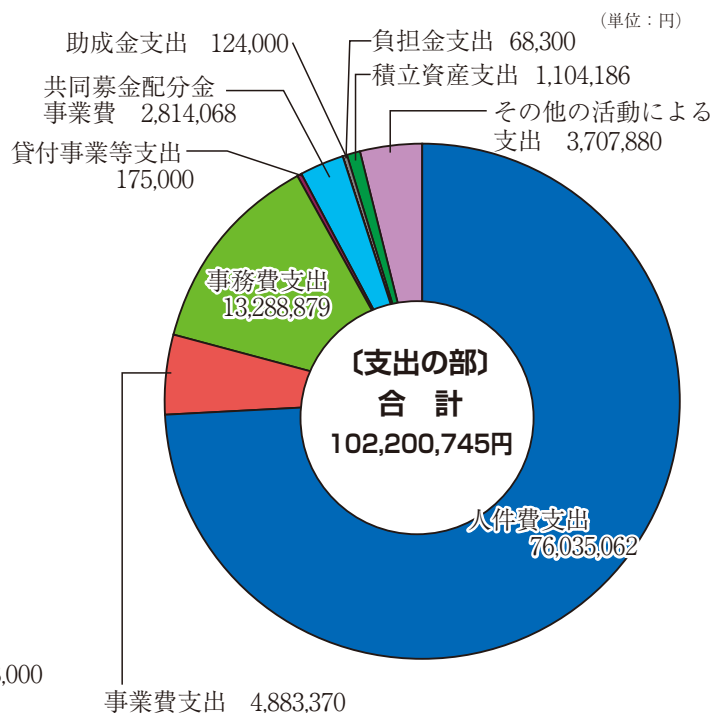
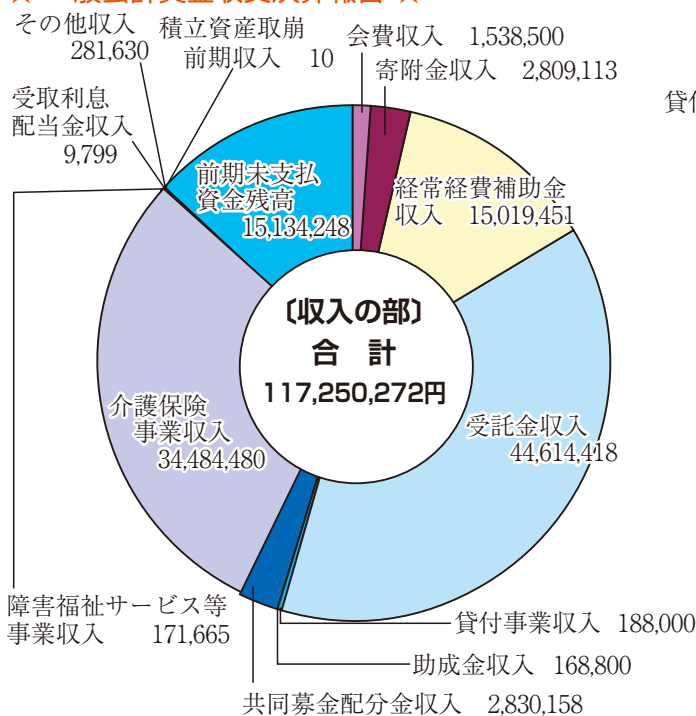
★地域包括支援センター事業★

- 介護予防ケアマネジメント業務〈300件〉
- 指定介護予防支援〈856件〉
- 総合相談支援業務・権利擁護業務〈1,365件〉
- 介護認定調査〈新規2件〉
- ケアマネ会議〈12回〉
- 包括ケア会議〈2回〉
- 認知症カフェ開催〈6回〉
- 家族介護教室〈3回〉
- 認知症サポーター養成講座〈3回〉
- 家族介護者交流会リフレッシュバスツアー〈1回〉
- 講演会「脳科学からみた認知症 講師：恩蔵絢子氏」〈1回〉
- 亀楽の会〈6回〉
- 生活支援体制整備事業
- ・地域サロン〈157回〉
- ・買い物支援ツアー〈16回〉
- ・協議体（ひなたぼっこ）定例会〈6回〉
- ・コミュニティカフェ〈2回〉
- ・有償ボランティア（たなちゃんお助け隊）養成講座〈1回〉
- ・有償ボランティア利用者〈25名〉
- ・有償ボランティア活動者〈16名〉
- ・有償ボランティア活動実績〈1,582回〉
- ・子育て世帯訪問ボランティア養成講座〈1回〉
- ・子育て世帯訪問ボランティア利用者〈3名〉
- ・子育て世帯訪問ボランティア活動者〈9名〉
- ・子育て世帯訪問ボランティア活動実績〈468回〉

★赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金★

- 赤い羽根共同募金 目標額1,949,000円
実績額1,775,490円
- 歳末たすけあい募金 目標額2,086,000円
実績額2,068,183円

★一般会計資金収支決算報告★



いきいきくらぶ参加者募集!!

棚倉町からの委託を受け、高齢者の皆さんの健康と生きがいを目的に『いきいきくらぶ』（デイサービス）を開催しています。参加者の皆さんと交流をはかり、脳の活性化のためのレクリエーション等を実施しています。いつまでも元気で自分らしい生活を送るために、参加してみませんか？

対象者 ①基本チェックリストで閉じこもりの予防・認知症の予防・うつ予防が必要となった方
②65歳以上の一人暮らしの方及び日中独居の方
③介護認定を受けたが、非該当だった方

場所 棚倉町保健福祉センター

開催日 週1回（火曜日・水曜日・木曜日のいずれか）



事業内容

午前……検温、手指のアルコール消毒、看護師による健康チェックのあと軽体操で体を動かし
大きなお風呂に入り、みんなで昼食をとり、おしゃべりや昼寝などして過ごします。

午後……創作活動、レクリエーション等盛り沢山の活動を行います。

- カレンダー作り（毎月） ○DVD鑑賞
- 身体の体操（玉入れ、青竹踏み、ボールを使った体操、DVD体操 等）
- ゲーム遊び（ボーリング、ターゲットゲーム、スカットボール 等）
- 頭の体操（折り紙、文字合わせ、間違い探し、ぬりえ、点つなぎ 等）
- 季節の行事（七夕飾り作り、夏祭り、クリスマス飾り作り 等）
- ボランティア団体による催し ○歯科衛生士の講話 ○おやつ作り
- 棚倉町食生活サポーターパブリカの皆さんの手作りの食事
- たなちゃん体操サポーターによる認知症予防のエクササイズ 等

費用 1回につき800円（昼食代を含む）



ストライク目指して！ボーリング



送迎がついているので安心

参加希望者は 町健康福祉課高齢者係

☎33-7801

棚倉町地域包括支援センター

☎33-7811までご連絡下さい。

令和7年度棚倉町民生児童委員協議会活動

民生委員41名、主任児童委員4名の45名体制で、高齢者や児童等で支援を必要な人に対して常に住民の立場に立った相談・支援・見守り活動をこの1年間実施しました。

【活動記録集計表】

相談・支援件数	内 容 別	項 目	合 計
		在 宅 福 祉	24
		介 護 保 険	0
		健 康・保 健 医 療	6
		子 育 て・母 子 保 健	3
		子 ども の 地 域 生 活	1
		子どもの教育・学校生活	1
		生 活 費	11
		年 金・保 険	0
		仕 事	70
		家 族 関 係	4
		住 居	2
		生 活 環 境	18
		日 常 的 な 支 援	33
		そ の 他	66
		計	239

分野別	項 目	合 計
	高 齢 者 に 関 す る こ と	145
	障 が い 者 に 関 す る こ と	3
	子 ども に 関 す る こ と	12
	そ の 他	79
	計	239
その他の活動件数	調 査・実 態 把 握	619
	行 事・事 業・会 議 へ の 参 加・協 力	500
	地 域 福 祉 活 動・自 主 活 動	198
	民 児 協 運 営・研 修	602
	証 明 事 務	22
	要 保 護 児 童 の 発 見 の 通 告・仲 介	2

民生委員・児童委員には法による守秘義務があります。相談内容が他の人に伝わることはありません。安心してご相談ください。

民生児童委員は、**住民の立場にたってまちの福祉を担うボランティア**です。

担当する地域に暮らす**身近な相談相手**として、地域住民からの生活上の心配ごとや困りごと、医療や介護、子育ての不安などの相談に応じています。そしてその課題が解決できるよう、必要な支援への「つなぎ役」になります。

また、地域の見守り役として、定期的な訪問などを通じて、高齢者や障がい者世帯、子どもたちの見守りを行っています。子どもや子育てに関する支援を専門に担当する主任児童委員も活動しています。

◎民生児童委員の日 活動強化週間◎

全国民生児童委員連合会では、毎年5月12日の民生児童委員の日から一週間を「民生児童委員の日活動強化週間」と定めております。棚倉町では毎年、ヨークベニマル棚倉店、TAIRAYA棚倉店にて棚倉警察署署員の方にも協力をいただき、詐欺防止啓発運動と一緒に民生児童委員PR活動（蛍光ペン、ポケットティッシュ、チラシ等配布）を行っています。



ヨークベニマル棚倉店



TAIRAYA棚倉店

ご寄附

社会福祉に役立ててくださいと、多くの方々から善意の寄附金が寄せられました。
深く感謝申し上げます。(令和8年3月14日～令和8年6月8日)

御遺志による寄附(順不同)

氏 名	摘 要	地区	氏 名	摘 要	地区
須藤 英典 様	故 我妻 忠光 様	西中居	鈴木 保 様	故 鈴木 文子 様	水白田
影山久美子 様	故 影山 正志 様	流	紀 秀樹 様	故 鈴木 愛子 様	栃木県
緑川 清一 様	故 緑川 勝子 様	山 際	嶋田顕誉志 様	故 嶋田 和夫 様	神奈川
渡邊 浩幸 様	故 渡邊 文男 様	八 槻	池澤 順一 様	故 池澤サイ子 様	観音向
大森 和子 様	故 戸部 ミチ 様	寺 山	日向 弘治 様	故 日向 弘一 様	上 台
高萩 芳隆 様	故 高萩 文男 様	北 町	近藤 利賓 様	故 近藤 和江 様	西中居
鈴木 達也 様	故 鈴木 宗作 様	富 岡	藤田千恵子 様	故 藤田ヒサノ 様	清戸作
松本 善光 様	故 松本 貞子 様	花 園	緑川 清司 様	故 緑川キミヨ 様	漆 草
五十嵐孝太郎様	故 五十嵐比呂子 様	新 町	齋藤 直也 様	故 齋藤 進一 様	花 園
緑川 航大 様	故 緑川 浩幸 様	漆 草			

その他寄附

日本精工福祉基金 福島支部 様 ゴルフ大会チャリティ募金として



しあわせ指定居宅介護支援事業所

～要介護・要支援認定の申請書が変わりました～

令和8年4月1日より、要介護・要支援認定申請書(区分変更申請書含む)が変更となり、下記の文面が盛り込まれました。

介護サービス計画の作成等介護保険事業の適切な運営のために必要があるときは、要介護認定・要支援認定にかかる調査内容、介護認定審査会による判定結果・意見、主治医意見書、棚倉町が提供を受けた介護サービス計画及び介護予防サービス計画並びに居宅サービス事業者又は介護保険施設の関係人が取得した心身の状況等の情報を、棚倉町から地域包括支援センター、居宅介護支援事業者、居宅サービス事業者、地域密着型サービス事業者、介護保険施設、介護予防支援事業者、介護予防サービス事業者若しくは地域密着型介護予防サービス事業者の関係人、介護予防・日常生活支援総合事業を行う者、主治医意見書に係る医師又は認定調査に従事した調査員に提示する（地域支援事業として介護情報基盤経由で電子的に行う場合を含む。）ことに同意します。

また、更新申請において要介護認定・要支援認定が認定有効期間内に行われる場合は、当該認定が申請の日から30日を超える場合であっても、認定の延期に係る通知を省略することに同意します。

本人氏名

国が整備を進めている介護情報基盤への対応に伴うものです。介護情報基盤とは、要介護認定や介護保険サービスに必要な情報を、市町村・介護事業所・ケアマネジャー・医療機関等で電子的に共有する国の仕組みです。これにより、介護サービスの質の向上や多職種連携の強化、ご本人の状態に合わせた適切なケアの提供を目指します。申請時には、内容をご確認のうえ、本人氏名のご記入をお願いいたします。

※介護支援専門員が住み慣れたご自宅での介護保険サービス等利用のお手伝いをします。

お気軽にご相談ください。

☎ 33-2623 (担当：江戸・安久津・西牧・土屋)

こんにちは！

地域包括支援センターです

～地域包括支援センターは、高齢者又はその家族等のなんでも相談窓口です～

☎33-7811

※休日や夜間も電話転送により対応しています。



今年度もたなちゃんカフェがオープン♪ ～修明高校社川農場にてさつまいも栽培～

棚倉町では認知症になっても希望をもって前を向き、本人の力を活かすことのできる場としてたなちゃんカフェを開催しています。



今年度のたなちゃんカフェでは通常の活動のほか、修明高校との連携協定を活かし高校生と交流しながら一緒に社川農場でさつまいも栽培を行います！

認知機能の回復や身体的効果があると言われている、花や野菜を育てたり、自然と触れ合うことを今年の活動に取り入れました。

天気にも恵まれた5月29日、修明高校生産流通科の生徒5名の方に苗植えの方法を教えてもらいながら、参加者12名がさつまいもの苗植体験をしました。参加者と高校生が一緒に土をいじりながら和やかな時間を過ごしました。参加者からは『一人でやると不安もありますが、みんなでやったのが楽しかったです』『今から収穫が楽しみです』と感想をいただきました。

今後も毎月苗の成長を見守りながら、11月には採れたさつまいもで収穫祭も予定しています♪畑作業に不安のある方も無理のない範囲で活動できます。

認知症について知りたい方、本人や家族が普段抱えている悩みや不安を相談したい方、リフレッシュするための機会にどなたでもぜひご参加ください。



講話や体操
交流会も
行います☆



次回予定

7/22 (水) 10:00～

場所：修明高校社川農場
農作業・認知症ミニ講話

ケアマネジャー連絡会議で『スーパービジョン研修会』を開催！

1月21日、松本喜一氏（福島県社会福祉士会 会長）を講師に招き、スーパービジョン研修会を開催しました。町内のケアマネジャーなど、17名が参加しました。

『スーパービジョン』とは、医療や介護の現場で用いられる、助言や指導の方法です。

スーパービジョンは「正解探し」ではなく、感情を言語化することや事例を「構造」で理解することが重要で、個人責任化しない振り返りであるとのことがありました。

事例を理解できるとケアマネジメントも楽になる、そのためにも日頃からの情報収集が大事との話があり、普段の支援の中で重要なポイントもお話いただき学び多い研修会となりました。



～『ケアマネのための便利帳』を作成しました～

ケアマネジャー連絡会議の中で編集委員を編成し、『ケアマネのための便利帳』を作成しました。便利帳は、近隣の介護サービス事業所や施設の情報を掲載したもので、ご利用者様、ご家族様と相談させていただく際に活用するものとなっています。作成にあたり、アンケートにご回答いただいた事業所、施設の皆さま、ご協力ありがとうございました。



【お問い合わせ】 棚倉町地域包括支援センター（担当：後藤、西牧（和）、円谷、川崎）

生活支援コーディネーターだより



令和8年度「地域で支えあう仕組みづくり勉強会」参加者募集！

だれもが住み慣れた地域で、いつまでも自分らしく安心して暮らし続けられるよう、地域での支え合い、助け合いが重要となってきています。棚倉町では令和元年度より、ひなたぼっこ（棚倉町協議体）を設置し、『買い物支援ツアー』や『コミュニティカフェ』等、様々な取り組みを展開しています。

去年は、修明高校と連携した『高齢者の生活をささえる暮らしの便利帳』の作成にもご協力いただきました。ひなたぼっこの皆さんと一緒に“支えあいの地域づくり”について考えてみませんか？

▶日 時：令和8年7月21日（火） 13：30～15：00

※8月に2回目の勉強会を予定しています。

▶会 場：棚倉町保健福祉センター 研修室

▶内 容：生活支援体制整備事業について

▶講 師：大山 重敏 氏（公益財団法人 さわやか福祉財団）



【お問い合わせ・お申込み】 TEL 33-2623 棚倉町社会福祉協議会 担当：小林（愛）

《お詫びと訂正》

5月1日に配布しました『高齢者の生活を支える暮らしの便利帳』に掲載した情報に誤りがありました。3ページ『理容じゅうごや』の電話番号を下記のとおり訂正いたします。ご迷惑をおかけしたことを、深くお詫び申し上げます。

理容じゅうごや 【誤】 33-1538 → 【正】 33-1583

ボランティアセンター

～ボランティアでつながる地域づくり～

棚倉町赤十字奉仕団

4月17日（金）棚倉町保健福祉センターにて、令和8年度総会が開催されました。総会後は、棚倉町地域包括支援センター職員による『認知症サポーター養成講座』を実施いたしました。

講座では、認知症の症状や対応について理解を深めました。「もし自分が認知症になったら…家族や身近な人が認知症になったら…」について考え、サポーターとして何ができるのかグループで話し合っていました。『どうしたらいいかわからない…』『自分がなったらすぐ施設に入りたい』等、率直な意見も聞かれましたが、今回の講座で対応の仕方を学んだので、今後の生活で生かしていきたい、家族がなった場合は寄り添ってあげたいとの感想が聞かれました。講座の後半では、酒井美由紀氏（寿恵園主任介護支援専門員）から施設紹介をしていただきました。各事業について丁寧に説明していただき、施設について詳しく知ることができ、良い機会となりました。



5月19日（火）矢祭町山村開発センター大集会室にて、令和8年度東白川方部赤十字奉仕団連絡協議会総会が行われ、棚倉町赤十字奉仕団から8名が参加しました。

総会では、令和7年度の活動報告と令和8年度の活動計画等について協議し、承認されました。

その後、研修会として棚倉消防署矢祭分署職員を講師に招き、『救急講座～いざという時の初動～』が行われました。傷病者発見から救急車が到着するまでの対応が大変重要とされています。救命処置の一連の流れについて、詳しく説明していただきました。

AEDの使い方に関しては、理解されている方も多いですが、いざ！という時、混乱せずに動けるかについては不安と話される方もいらっしゃいました。焦らず正しい処置ができるように、繰り返し、訓練することが大事だと再確認していました。



手作り雑巾ボランティア

“未使用のタオルを集めています！”

家庭で活用されていないタオルを有効活用し、おうちでできるボランティアが『手作り雑巾ボランティア』です。縫っていただいた雑巾は町内の福祉施設や学校へ寄付しています。現在、ボランティアに縫っていただく、未使用のタオルを集めています。使わずにしまってあるタオルがありましたら、ご提供をお願いします。また、雑巾を縫ってくださるボランティアも随時募集しています。

興味のある方はお気軽にお問い合わせください。



ボランティア団体の紹介

たなぐら 語りの会

『たなぐら語りの会』は現在、会員9名で活動されています。棚倉町で昔から伝わる民話や伝説を若い世代へ伝承していくため、小学校や図書館は楽しいンジャー等で語り部をされています。毎年、いきいきくらぶへも訪れ、語り部の他にハーモニカ演奏を披露するなど、盛り上げてくださっています。

2か月に一度定例会を開催し、地域の歴史や文化を学ぶため、勉強会を行うなど精力的に活動されています。「語り部を聞いてみたい！」と語り部をご希望の方、「語り部をやりたい」と活動をご希望の方、お気軽にボランティアセンターへお問い合わせください。



ハーモニカの
音色が素敵です♪

★いきいきくらぶの活動のようす★

4月から6月まで活動して頂いたボランティアの皆さま

- ☆いきいきくらぶ：棚倉町食生活サポーターパブリカ
- ☆棚倉サウンドテーブルテニスクラブ
- ☆音声コードの会・たなぐら
- ☆傾聴ボランティア：ほほえみ会
- ☆手作り雑巾ボランティア：今井榮子様
- ☆買い物支援ツアー：ひなたぼっこ（棚倉町協議体）



ご協力ありがとうございました。

ボランティアをやってみたい、ボランティアに関心がある方はお問い合わせ下さい。

お問い合わせ：棚倉町社会福祉協議会 ボランティアセンター

0247-33-2623 担当：小林（愛）

お知らせコーナー

令和8年度 在宅医療・介護連携推進事業

映画『ハッピー★エンド』上映会 来場者募集

住み慣れた地域で人生の最後まで自分らしい暮らしを続けたい…

そのためには医療と介護の連携が重要です。在宅医療や介護について理解を深めることを目的に映画の上映会を行います。



★ストーリー★

病気になっても旅行を楽しみ、愛するペットとともに暮らす、趣味のガーデニングやゴルフ・お酒を満喫する…。

最後まで自分らしく生きる、その輝き、前向きに歩き始める患者自身と家族、在宅診療医の姿を描くハートフルなドキュメンタリー映画です！

日 時：令和8年 8 月 7 日（金）
13時30分～15時15分

会 場：棚倉町文化センター リハーサル室

定 員：100名 入場料：無料

申込締切：7月31日（金）

申 込 先：棚倉町地域包括支援センター
TEL 33-7811

《 心配ごと相談 》

【民生委員による相談】 日時 毎月第2月曜日午前9時～正午（祝祭日の場合は翌日）
7月13日 8月10日 9月14日 10月13日 11月 9日 12月14日
【弁護士による相談】 日時 毎月第3木曜日午前10時30分～午後3時（相談時間30分程度）
7月16日 8月20日 9月17日 10月15日 11月19日 12月17日

※あらかじめ電話 **【33-2623】** で予約をしてお越しください。

※電話による受付予約は、前日 9時 ～ 17時まで
当日 9時 ～ 12時まで とします。

※来所による受付は、当日午前9時～午後3時までとします。

※相談については秘密を守ります。 ※相談は棚倉町保健福祉センター内相談室で行います。

※無料で相談に応じますのでお気軽にご利用下さい。

役 員 紹 介

理事の退任により、新たな理事を選任し、地域福祉の進展のためのご支援、ご協力をお願いいたしました。

理 事		
任期：選任日から令和8年度決算に係る定時評議員会の終結の時までとする。		
氏 名（敬称略）	備 考	選 任 日
菊 池 忠 二	棚倉町議会議長	令和8年3月24日
梅 津 俊 哉	棚倉町副町長	令和8年6月19日
蛭 田 卓 雄	棚倉町老人クラブ連合会会長	令和8年6月19日

なお、退任されました佐藤 喜一様、渡邊 崇史様、和知 英臣様には、社協活動へのご理解とご協力いただきましたことに深く感謝申し上げます。